Ⅰ　環境保全団体、学校等による調査

Ⅰ　環境保全団体、学校等による調査

１　調査の目的

水質検査がその瞬間の水の状態を評価する方法であるのに対し、川に棲む水生生物（底生動物）の種類や数を調べると、より長期的な水環境を知ることができます。また、底生動物の調査には特殊な器材も不要なため､比較的簡単に実施できるという利点があります。

本調査は、環境保全団体や学校等（以下、「環境保全団体等」とする。）が「水生生物調査」や「水質の簡易調査（パックテスト）」を実施することにより、身近な川の水環境についての関心を高め、地域における水環境保全活動を支援することを目的に実施しました。

２　調査方法

熊本県が作成した「川の水環境・調査のてびき」（平成 7 年 3 月発行、平成 23 年 10 月改訂、熊本県環境生活部環境局環境保全課）に準じ、水環境の快適さを表Ⅰ－１に示す 5 段階とし、川の地形と流域の土地利用状況（評価基礎点）、水質、川底、底生動物の 4 項目の評価を実施しました。

なお、調査は環境保全団体等が自ら企画し、県環境保全課及び管轄保健所等と協力して実施しました。

３　調査結果の概要

環境保全団体等 35 団体がのべ 65 地点で調査を実施し、のべ 1,295 人が参加しました。調査実施団体等の内訳は、環境保全団体関係が 15 団体、学校関係が 20 団体でした。

また、調査場所 65 地点の内訳からは、緑川水系（18 地点）や白川水系（7 地点）、菊池川水系(18 地点)、球磨川水系（7 地点）などで特に熱心な活動が実施されていることがうかがえました。

・ 指標生物及び簡易水質調査結果（表Ⅰ－２）

生物から見た水環境評価では、調査地点 35 地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が 16 地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が 10 地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」7 地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が 2 地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は 0 地点と大半の地点において比較的良好な結果が得られました。

一方、水質から見た水環境評価では、調査地点 65 地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が 29 地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が 22 地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」が 14 地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が 0 地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は 0 地点でした。

※ 調査を実施した 65 地点中、生物または水質の水環境評価に必要な項目が全てそろっている地点のみの集計としています。また、環境保全団体等の個々の調査結果等（一部の団体のみ抜粋し掲載）を 7 ページ以降に示しました。

表Ⅰ－１　川の水環境の快適さの表現（評価値）

階級	川の水環境の快適さ	例えば（感じることなど）
Ⅰ	快適な水環境	清冽な水の冷たさを感じる さわやかに自然を楽しめる ヤマメ、タカハヤが生息している
Ⅱ	親しめる水環境	水泳や水遊びができると感じる 水や水辺がここちよく感じる アユ、ウグイ、カワムツが生息している
Ⅲ	不快を感じない水環境	素足で水の中に入れると感じる 川面や水辺に親しみを感じる ヨシノボリ、オイカワ、コイが生息している
Ⅳ	多少不快な水環境	素足では水の中に入りたくない 水辺に近づいて不快感がない程度 コイ、フナ、ナマズが生息している
Ⅴ	不快な水環境	きたなくて、川では遊べないと感じる 水辺に近よりたいと感じない

表Ｉ－２　平成 27 年度における県内の団体の参加状況及び調査結果

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数（のべ）	調査日	水質評価	生物評価
1	1	生物＆水質	尾窪「ホタル」会（子ども会）	滑川	緑川	熊本市	メリ穴公園周辺	5	8/9	Ⅲ	Ⅰ
2		生物＆水質		柿田川	緑川	熊本市	メリ穴公園周辺	6	8/9	Ⅱ	Ⅲ
3		生物＆水質		メリ穴水源	緑川	熊本市	メリ穴公園周辺	10	8/9	Ⅱ	Ⅱ
4	2	水質	九州テクニカルメンテナンス株式会社	坪井川	白川	熊本市	栄橋付近	13	9/12	Ⅰ	－
5		水質		梶尾川	白川	熊本市	北部坪井橋坪井川合流付近	13	9/12	Ⅰ	－
6		水質		坪井川	白川	熊本市	鶴羽田橋付近	13	9/12	Ⅰ	－
7		水質		井芹川	白川	熊本市	平成大橋付近	10	8/29	Ⅱ	－
8		水質		坪井川	白川	熊本市	高橋稲荷大橋付近	10	8/29	Ⅱ	－
9		水質		坪井川	白川	熊本市	第一池上橋付近	10	8/29	Ⅱ	－
10		水質		亀川	亀川	天草市	明亀橋付近	18	8/2	Ⅰ	－
11		水質		亀川	亀川	天草市	桶渡橋付近	18	8/2	Ⅰ	－
12		水質		木山川	緑川	益城町	荒瀬橋付近	8	8/23	Ⅰ	－
13		水質		木山川	緑川	益城町	三竹橋付近	8	8/23	Ⅰ	－
14		水質		木山川	緑川	益城町	新川橋付近	8	8/23	Ⅰ	－
15	3	生物＆水質	熊本市立植木小学校	加勢川	緑川	熊本市	下江津広木地区	48	7/28	Ⅱ	Ⅰ
16	4	水質	次世代のためにがんばろ会	球磨川	球磨川	八代市	荒瀬ダム上流（ボートハウス）付近	5	7/20	Ⅱ	－
17		水質		球磨川	球磨川	八代市	蛇籠水辺のプロムナード	5	7/20	Ⅲ	－
18		水質		球磨川	球磨川	八代市	遥拝堰	5	7/20	Ⅱ	－
19	5	生物＆水質	人吉市立人吉東小学校	球磨川	球磨川	人吉市	中川原公園	83	9/8	Ⅲ	Ⅰ
20	6	生物＆水質	人吉市立中原小学校	万江川	球磨川	人吉市	新万江川橋下流	45	9/11	Ⅰ	Ⅰ
21	7	生物＆水質	関川・諏訪川流域会議	関川	菊池川	荒尾市	岩本橋付近	34	7/31	Ⅱ	Ⅱ
22	8	生物＆水質	水俣市立水俣第一小学校	湯出川	水俣川	水俣市	水俣市小崎	50	7/8	Ⅰ	Ⅰ
23	9	生物＆水質	山口地域活動クラブ	町山口川	町山口川	天草市	仁田公民館付近	25	8/20	Ⅲ	Ⅰ
24	10	生物＆水質	NPO天草ネット	大宮地川	大宮地川	天草市	親和町大宮地亀ヶ渕付近	40	8/4	Ⅰ	Ⅲ
25	11	生物＆水質	平小城活性化協議会（平小城小学校）	内野川	菊池川	山鹿市	内野川上流	5	7/28	Ⅱ	Ⅱ
26		水質		内野川	菊池川	山鹿市	平山温泉付近	5	7/28	Ⅱ	－
27		生物＆水質		岩村川	菊池川	山鹿市	双板付近	5	7/28	Ⅲ	Ⅰ
28		生物＆水質		岩村川	菊池川	山鹿市	湯山付近	5	7/28	Ⅱ	Ⅱ
29		水質		岩村川	菊池川	山鹿市	湯山付近下	5	7/28	Ⅲ	－
30		生物＆水質		小群川	菊池川	山鹿市	央付近	5	7/28	Ⅱ	Ⅱ
31	12	生物＆水質	菊池少年自然の家	菊池川	菊池川	山鹿市	山鹿市鹿本町中川（鹿本町水辺の学習館ゆめほたる前）	11	8/5	Ⅱ	Ⅱ
32		生物＆水質		菊池川	菊池川	菊池市	菊池渓谷水の駅前	11	8/3	Ⅰ	Ⅰ
33	13	生物＆水質	菊池地区広域協定運営委員会	菊池川	菊池川	菊池市	菊池市亘地先（清流公園）	140	9/11	Ⅰ	Ⅰ
34	14	生物＆水質	菊池市立菊池北小学校	迫間川	菊池川	菊池市	菊池市袈裟尾	44	10/24	Ⅰ	Ⅰ
35	15	生物＆水質	豊野町みどりの少年団	浜戸川	緑川	宇城市	宇城市豊野町巣林・山崎	20	9/13	Ⅰ	Ⅲ
36	16	生物＆水質	宇城市立海東小学校	砂川	砂川	宇城市	海東小前　大五橋下	24	9/15	Ⅱ	Ⅰ

次頁につづく

表Ｉ－２　平成 27 年度における県内の団体の参加状況及び調査結果（つづき）

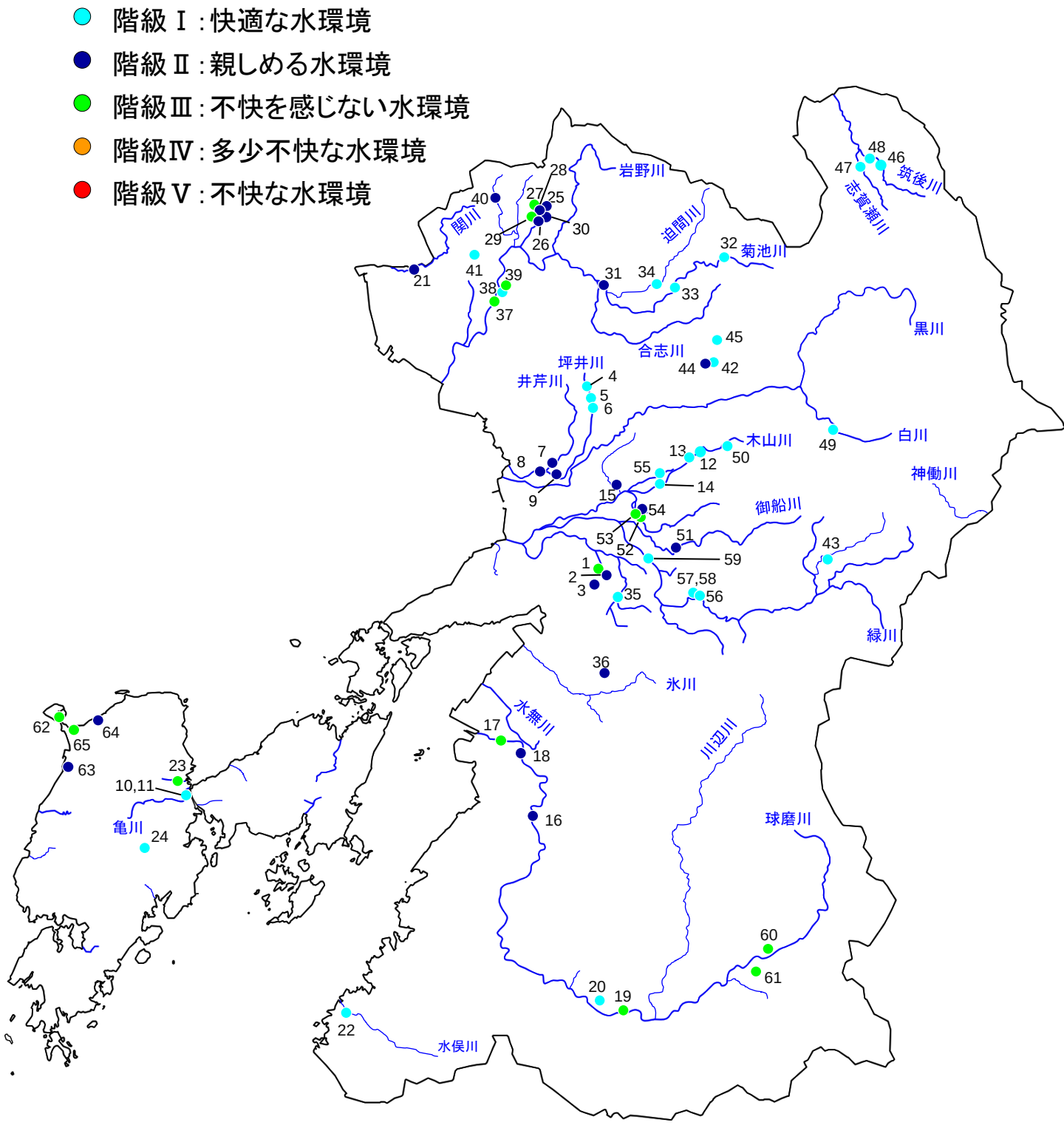
調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数（のべ）	調査日	水質評価	生物評価
37		水質		菊池川	菊池川	和水町	菊池川樋門出口 排水路付近	25	8/2	Ⅲ	－
38	17	水質	和水町大江田子ども会 大江田地域資源保全隊	菊池川	菊池川	和水町	コミュニティセンター 排水路付近	25	8/2	Ⅱ	－
39		水質		菊池川	菊池川	和水町	コーポ坂本西側 排水路付近	25	8/2	Ⅲ	－
40	18	生物＆水質	和水町立三加和小学校	和仁川	菊池川	和水町	和仁川	30	7/16	Ⅱ	Ⅰ
41	19	生物＆水質	南関町立南関第四小学校	内田川	菊池川	南関町	次郎丸橋	8	9/16	Ⅰ	Ⅲ
42		水質		湧水		大津町	大津町平川地区	15	9/25	Ⅰ	－
43	20	水質	菊池管内環境活動協議会 大津町立大津北小学校	通潤用水	緑川	山都町	円形分水工	15	9/25	Ⅰ	－
44		水質		平川	菊池川	大津町	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近	15	9/25	Ⅱ	－
45		水質		矢護川	菊池川	大津町	矢護川公園	15	9/25	Ⅰ	－
46		水質		杖立川	筑後川	小国町	宮原　宮ノ下	5	8/1	Ⅰ	－
47	21	水質	宮原ざまむね座	志賀瀬川	筑後川	小国町	宮原　関田	5	8/1	Ⅰ	－
48		水質		杖立川	筑後川	小国町	宮原　柏田	5	8/1	Ⅰ	－
49	22	生物＆水質	南阿蘇村立久木野小学校	白川	白川	南阿蘇村	合上橋	25	7/10	Ⅰ	Ⅱ
50	23	生物＆水質	西原村立河原小学校	滝川	緑川	西原村	滝川橋	8	6/24	Ⅰ	Ⅰ
51	24	生物＆水質	御船町立滝尾小学校	御船川	緑川	御船町	滝尾小学校前	12	9/4	Ⅱ	Ⅱ
52		水質		天水川	緑川	嘉島町	北甘木	30	7/26	Ⅲ	－
53	25	水質	北甘木活動組織 （北甘木親子会）	矢形川	緑川	嘉島町	石塚橋下流	30	7/26	Ⅲ	－
54		水質		千原池	－	嘉島町	千原ため池	30	7/26	Ⅱ	－
55	26	生物＆水質	ましき宝箱	秋津川	緑川	益城町	益城町広崎橋上流	18	8/2	Ⅰ	Ⅳ
56	27	生物＆水質	みかご会	緑川	緑川	甲佐町	井戸江峡一帯	19	8/2	Ⅰ	Ⅰ
57		生物＆水質		緑川	緑川	甲佐町	井戸江橋周辺	19	8/2	Ⅰ	Ⅰ
58	28	生物＆水質	甲佐町教育委員会	緑川	緑川	甲佐町	川平キャンプ場	17	9/27	Ⅰ	Ⅰ
59	29	生物＆水質	甲佐町立乙女小学校	緑川	緑川	甲佐町	津志田河川自然公園	22	9/8	Ⅰ	Ⅱ
60	30	生物＆水質	多良木町立黒肥地小学校	用水路	球磨川	多良木町	鮎の瀬井手掛	30	6/1	Ⅲ	Ⅳ
61	31	生物＆水質	多良木町立久米小学校	用水路	球磨川	多良木町	久米	20	6/25	Ⅲ	Ⅲ
62	32	生物＆水質	苓北町立富岡小学校	中山川	中山川	苓北町	中山川下流	15	10/6	Ⅲ	Ⅲ
63	33	水質	苓北町立都呂々小学校	都呂々川	都呂々川	苓北町	都呂々川下流	7	10/6	Ⅱ	－
64	34	生物＆水質	苓北町立坂瀬川小学校	松原川	松原川	苓北町	松原川下流	11	10/9	Ⅱ	Ⅱ
65	35	生物＆水質	苓北町立志岐小学校	志岐川	志岐川	苓北町	志岐川下流	24	10/9	Ⅲ	Ⅲ

環境団体等	15
学校関係	20
のべ調査地点	65
のべ調査人数	1295

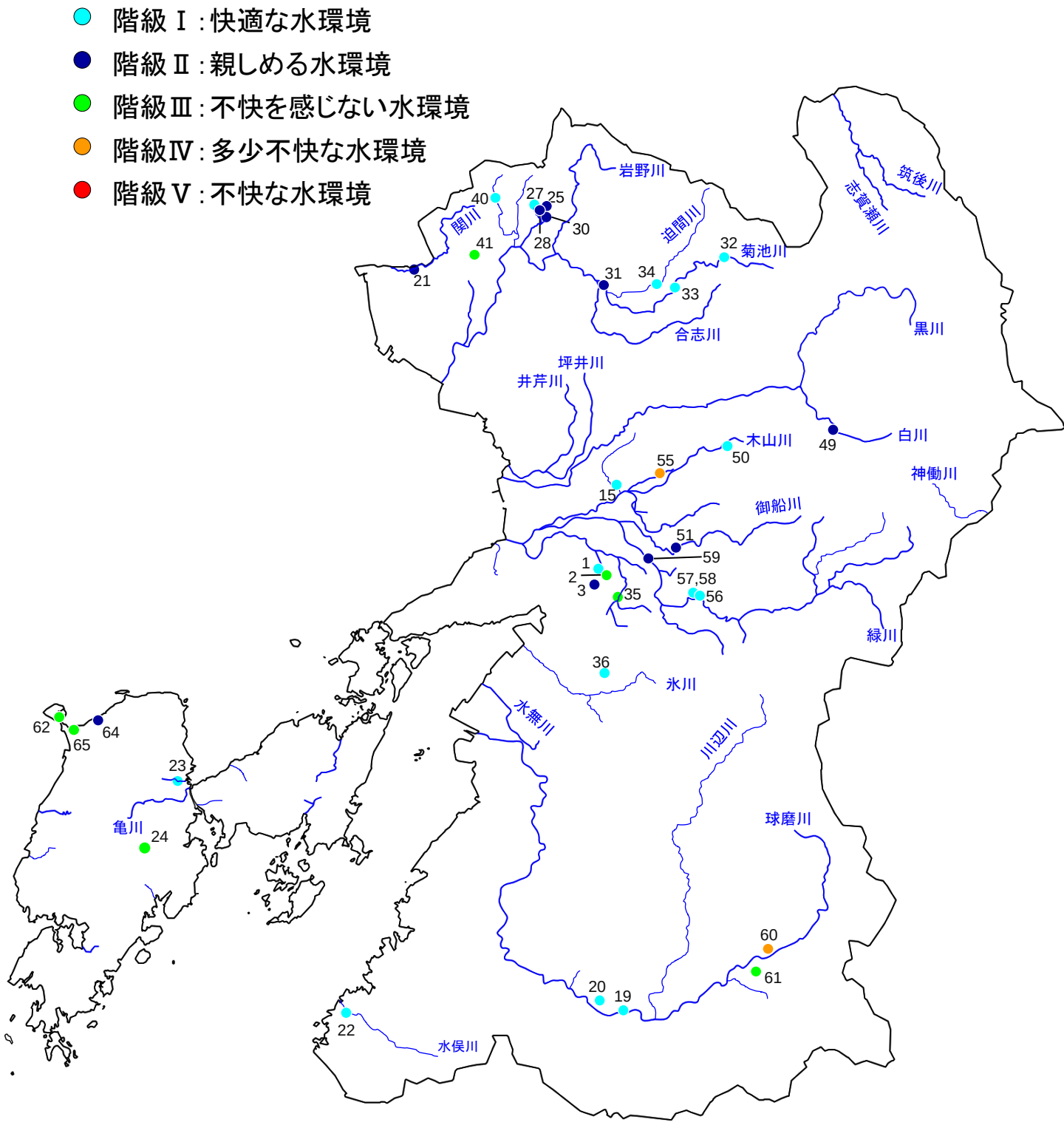
水系	合計
緑川	18
白川	7
菊池川	18
球磨川	7

調査結果	水質	生物
Ⅰ	29	16
Ⅱ	22	10
Ⅲ	14	7
Ⅳ	0	2
Ⅴ	0	0
合計	65	35

※表中の記載内容は、各調査団体が提出した報告書からわかる範囲で記載しています。



図Ⅰ－1　水質評価結果マップ



図Ⅰ－２　指標生物評価結果マップ

（別記様式２）県への報告様式

川の水環境調査記録用紙（その1）

調査番号
No. 16

調査河川名	球磨川　（水系 球磨川　）		
調査地点名	荒瀬ダム上流（ボートハウス）付近		
調査団体名	次世代のためにがんばろ会		
代表者名		参加人数	５ 人
連絡先住所			
調査年月日	平成27年7月20日	調査時間	2時間
調査日天候	晴れ	気温	℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	(1) 渓流域　2. 山間流域　3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林　2. 畑・水田　3. 市街地
①評価基礎点 （A＋B）／2＝　　点　階級	

2. 水質を調べる

水温	℃
a. 水の色	(1) 無色　2. 緑茶色　3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1) 無臭　3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上　(2) 60cm以上　3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5～8.5　3. 6.4以下　3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満　3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 （a＋b＋c＋d＋e）／5＝　　点　階級	

3. 川底を調べる
（底生動物を調べる場所で調査する）

調査場所	早瀬　平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石　(3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか　(2) メロン　3. みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし　2. 砂泥　3. 泥（腐敗）
i. 付着藻類色	1. 茶緑色　2. 緑色　3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない　2. 多い　3. マット状
③川底評価点 （f＋g＋h＋i＋j）／5＝　　点　階級	

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点 ②水質	評価点 ③川底
Ⅰ	快適な水環境	(1.0)	1.0	1.0
Ⅱ	親しめる水環境	1.5	1.2 (1.4) 1.6	1.2 1.4 1.6
Ⅲ	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
Ⅳ	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
Ⅴ	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年　組　名前

（別記様式２）県への報告様式

川の水環境調査記録用紙（その1）

調査番号
No. 17

調査河川名	球磨川　（水系 球磨川　）		
調査地点名	蛇籠水辺のプロムナード		
調査団体名	次世代のためにがんばろ会		
代表者名		参加人数	５ 人
連絡先住所			
調査年月日	平成27年7月20日	調査時間	2時間
調査日天候	晴れ	気温	℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	(1) 渓流域　2. 山間流域　3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林　2. 畑・水田　3. 市街地
①評価基礎点 （A＋B）／2＝　　点　階級	

2. 水質を調べる

水温	℃
a. 水の色	(1) 無色　2. 緑茶色　3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1) 無臭　3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上　(2) 60cm以上　3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5～8.5　3. 6.4以下　3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満　(3) 5.0mg/L以上
②水質評価点 （a＋b＋c＋d＋e）／5＝　　点　階級	

3. 川底を調べる
（底生動物を調べる場所で調査する）

調査場所	早瀬　平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石　(3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか　2. メロン　(3) みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし　2. 砂泥　3. 泥（腐敗）
i. 付着藻類色	1. 茶緑色　2. 緑色　3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない　2. 多い　3. マット状
③川底評価点 （f＋g＋h＋i＋j）／5＝　　点　階級	

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
Ⅰ	快適な水環境	(1.0)	1.0	1.0
Ⅱ	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
Ⅲ	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			(2.0)	2.0
			2.2	2.2
Ⅳ	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
Ⅴ	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年　組　名前

（別記様式２）県への報告様式

川の水環境調査記録用紙（その1）

調査番号
No. 18

調査河川名	球磨川　（水系 球磨川　）		
調査地点名	遥拝堰		
調査団体名	次世代のためにがんばろ会		
代表者名		参加人数	５ 人
連絡先住所			
調査年月日	平成27年7月20日	調査時間	2時間
調査日天候	晴れ	気温	℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	(1) 渓流域　2. 山間流域　3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林　2. 畑・水田　3. 市街地
①評価基礎点 （A＋B）／2＝　　点　階級	

2. 水質を調べる

水温	℃
a. 水の色	(1) 無色　2. 緑茶色　3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1) 無臭　3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上　(2) 60cm以上　3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5～8.5　3. 6.4以下　3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満　3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 （a＋b＋c＋d＋e）／5＝　　点　階級	

3. 川底を調べる
（底生動物を調べる場所で調査する）

調査場所	早瀬　平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石　(3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか　(2) メロン　3. みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし　2. 砂泥　3. 泥（腐敗）
i. 付着藻類色	1. 茶緑色　2. 緑色　3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない　2. 多い　3. マット状
③川底評価点 （f＋g＋h＋i＋j）／5＝　　点　階級	

水質と川底評価点からの水環境評価

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点 ②水質	評価点 ③川底
Ⅰ	快適な水環境	(1.0)	1.0	1.0
Ⅱ	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			(1.4)	1.4
			1.6	1.6
Ⅲ	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
Ⅳ	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
Ⅴ	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年　組　名前

（別記様式２）県への報告様式

川の水環境調査記録用紙（その1）

調査番号
No. 19

調査河川名	球磨川　（水系　球磨川）		
調査地点名	中川原公園		
調査団体名	人吉東小学校　5年生		
代表者名		参加人数	83人
連絡先住所			
調査年月日	平成27年9月8日	調査時間	10:20
調査日天候	晴れ	気温	25　℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域　2. 山間流域　(3). 平地流域
B. 川の背景	1. 森林　2. 畑・水田　(3). 市街地
①評価基礎点　（A＋B）／2＝　3　点　階級　Ⅴ	

2. 水質を調べる

水温	19　℃
a. 水の色	1. 無色　(2). 緑茶色　3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭　(3). 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上　2. 60cm以上　(3). 60cm未満
d. pH	(1). 6.5～8.5　3. 6.4以下　3. 8.6以上
e. COD	(1). 5.0mg/L未満　3. 5.0mg/L以上
②水質評価点　（a＋b＋c＋d＋e）／5＝　2　点　階級　Ⅲ	

3. 川底を調べる
（底生動物を調べる場所で調査する）

調査場所	(早瀬)　平瀬
f. 石の状態	(1). 浮き石　3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか　(2). メロン　3. みかん
h. 堆積物の種類	(1). なし　2. 砂泥　3. 泥（腐敗）
i. 付着藻類色	(1). 茶緑色　2. 緑色　3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1). 少ない　2. 多い　3. マット状
③川底評価点　（f＋g＋h＋i＋j）／5＝　1．2　点　階級　Ⅱ	

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
Ⅰ	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
Ⅱ	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
Ⅲ	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
Ⅳ	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
Ⅴ	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

調査日：平成27年9月8日　調査河川：球磨川　調査団体名：人吉東小学校　5年生

川の水環境調査記録用紙（その2）

No.

4. 底生動物（ていせいどうぶつ）を調べる

1.カワゲラ類

2.ナガレトビケラ類

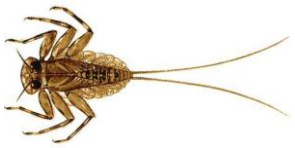
3.ヒゲナガカワトビケラ

4.チラカゲロウ

5.携巣性トビケラ類

6.ニッポンヨコエビ

・ サワガニ


7.ヒラタカゲロウ類

8.ウズムシ類

9.ヘビトンボ類

10.マダラカゲロウ類

11.タニガワカゲロウ類

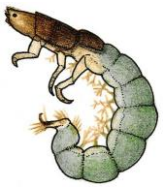
12.ブユ

・ ガガンボ

13.カワニナ

14.ヒラタドロムシ類

15.コカゲロウ類


16.コガタシマトビケラ

17.ユスリカ類

18.貝類(モノアラガイ、シジミ)

19.サホコカゲロウ

20.ミズムシ

21.ヒル類

22.サカマキ貝

23.イトミミズ類

24.セスジユスリカ(赤)

25.ホシチョウバエ

階級	No. 指標生物名（しひょうせいぶつめい）	水質環境評価階級 I	II	III	IV	V
快適な水環境（I）	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巣性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境（II）	8. ウズムシ類（プラナリア）					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境（III）	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類（白・緑）			○		
多少不快な水環境（IV）	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ（等脚目）					
	21. ヒル類					
不快な水環境（V）	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ（赤）					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数（○＋●）	5	3	4	0	0
	最も多い種の数（●）	1	0	0	0	0
	得点の合計	6	3	4	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

（別記様式２）県への報告様式

川の水環境調査記録用紙（その1）

調査番号
No. 20

調査河川名	万江川　（水系　球磨川　）		
調査地点名	新万江川橋下流		
調査団体名	中原小学校　5年生		
代表者名		参加人数	45　人
連絡先住所			
調査年月日	平成27年9月11日	調査時間	午前10時
調査日天候	快晴	気温	27℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域　(2. 山間流域)　3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林　(2. 畑・水田)　3. 市街地
①評価基礎点　（A＋B）／2＝　2　点　階級　Ⅲ	

2. 水質を調べる

水温	19　℃
a. 水の色	(1. 無色)　2. 緑茶色　3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1. 無臭)　3. 臭いあり
c. 透視度	(1. 80cm以上)　2. 60cm以上　3. 60cm未満
d. pH	(1. 6.5～8.5)　3. 6.4以下　3. 8.6以上
e. COD	(1. 5.0mg/L未満)　3. 5.0mg/L以上
②水質評価点　（a＋b＋c＋d＋e）／5＝　1　点　階級　Ⅰ	

3. 川底を調べる

（底生動物を調べる場所で調査する）

調査場所	(早瀬)　平瀬
f. 石の状態	(1. 浮き石)　3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか　(2. メロン)　3. みかん
h. 堆積物の種類	(1. なし)　2. 砂泥　3. 泥（腐敗）
i. 付着藻類色	(1. 茶緑色)　2. 緑色　3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1. 少ない)　2. 多い　3. マット状
③川底評価点　（f＋g＋h＋i＋j）／5＝　1.2　点　階級　Ⅱ	

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
Ⅰ	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
Ⅱ	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
Ⅲ	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
Ⅳ	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
Ⅴ	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

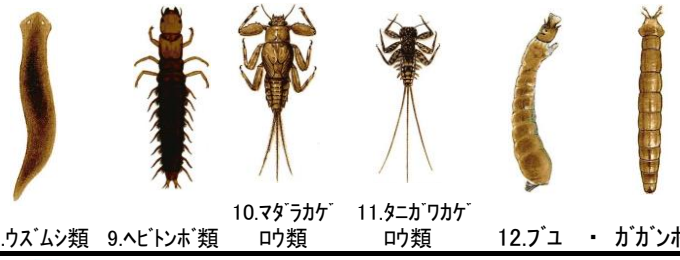
メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

調査日：平成27年9月11日　調査河川：万江川　調査団体名：中原小学校　5年生

川の水環境調査記録用紙（その2）

No.

4. 底生動物（ていせいどうぶつ）を調べる



階級	No. 指標生物名（しひょうせいぶつめい）	水質環境評価階級 I	II	III	IV	V
快適な水環境（I）	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巣性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境（II）	8. ウズムシ類（プラナリア）					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境（III）	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類（白・緑）					
多少不快な水環境（IV）	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ（等脚目）					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境（V）	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ（赤）					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数（○＋●）	7	4	4	2	
	最も多い種の数（●）	1	0	0	0	
	得点の合計	8	4	4	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

（別記様式２）県への報告様式

川の水環境調査記録用紙（その1）

調査番号
No. 22

調査河川名	湯出川　（水系 水俣川）		
調査地点名	水俣市小崎		
調査団体名	水俣第一小学校4年生		
代表者名		参加人数	50 人
連絡先住所			
調査年月日	平成27年7月8日	調査時間	10時～12時
調査日天候	晴れ	気温	28.7℃

水質と川底評価点からの水環境評価

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点 ②水質	評価点 ③川底
Ⅰ	快適な水環境	1.0	(1.0)	1.0
Ⅱ	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 (1.4) 1.6
Ⅲ	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
Ⅳ	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
Ⅴ	不快な水環境	(3.0)	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域　2. 山間流域　(3.) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林　2. 畑・水田　(3.) 市街地
①評価基礎点 （A＋B）／2＝ 3 点 階級 Ⅴ	

2. 水質を調べる

水温	20.8 ℃
a. 水の色	(1.) 無色　2. 緑茶色　3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1.) 無臭　3. 臭いあり
c. 透視度	(1.) 80cm以上　2. 60cm以上　3. 60cm未満
d. pH	(1.) 6.5～8.5　3. 6.4以下　3. 8.6以上
e. COD	(1.) 5.0mg/L未満　3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 （a＋b＋c＋d＋e）／5＝ 1 点 階級 Ⅰ	

3. 川底を調べる
（底生動物を調べる場所で調査する）

調査場所	早瀬　(平瀬)
f. 石の状態	(1.) 浮き石　3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか　(2.) メロン　3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし　(2.) 砂泥　3. 泥（腐敗）
i. 付着藻類色	(1.) 茶緑色　2. 緑色　3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1.) 少ない　2. 多い　3. マット状
③川底評価点 （f＋g＋h＋i＋j）／5＝ 1.4 点 階級 Ⅱ	

メモ：河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年　組　名前

川の水環境調査記録用紙（その2）

No.

4. 底生動物（ていせいどうぶつ）を調べる

1.カワゲラ類

2.ナガレトビケラ類

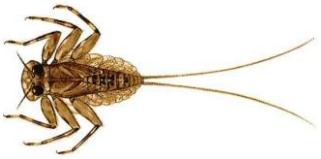
3.ヒゲナガカワトビケラ

4.チラカゲロウ

5.携巣性トビケラ類

6.ニッポンヨコエビ

・ サワガニ


7.ヒラタカゲロウ類

8.ウズムシ類

9.ヘビトンボ類

10.マダラカゲロウ類

11.タニガワカゲロウ類

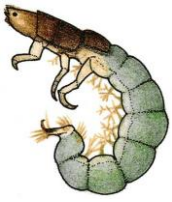
12.ブユ

・ ガガンボ

13.カワニナ

14.ヒラタドロムシ類

15.コカゲロウ類


16.コガタシマトビケラ

17.ユスリカ類

18.貝類(モノアラガイ、シジミ)

19.サホコカゲロウ

20.ミズムシ

21.ヒル類

22.サカマキ貝

23.イトミミズ類

24.セスジユスリカ(赤)

25.ホシチョウバエ

階級	No.	指標生物名（しひょうせいぶつめい）	水質環境評価階級 I	II	III	IV	V
快適な水環境（I）	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4.	チラカゲロウ	○				
	5.	携巣性トビケラ類	○				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境（II）	8.	ウズムシ類（プラナリア）		○			
	9.	ヘビトンボ類		○			
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境（III）	13.	カワニナ			○		
	14.	ヒラタドロムシ			○		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類（白・緑）			○		
多少不快な水環境（IV）	18.	貝類				○	
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ（等脚目）					
	21.	ヒル類					
不快な水環境（V）	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					○
	24.	セスジユスリカ（赤）					○
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計		出現した種の数（○＋●）	7	5	5	1	2
		最も多い種の数（●）	1				
		得点の合計	8	5	5	1	2
底生動物による川の水環境評価の判定			I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

（別記様式２）県への報告様式

川の水環境調査記録用紙（その1）

調査番号
No. 31

調査河川名	菊池川	（水系	）
調査地点名	山鹿市鹿本町中川（鹿本町水辺の学習館ゆめほたる前）		
調査団体名	熊本県立菊池少年自然の家		
代表者名		参加人数	11人
連絡先住所			
調査年月日	平成27年8月5日	調査時間	9:55
調査日天候	晴れ	気温	32 ℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
Ⅰ	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
Ⅱ	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
Ⅲ	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
Ⅳ	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
Ⅴ	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域　2. 山間流域　(3). 平地流域
B. 川の背景	1. 森林　(2). 畑・水田　3. 市街地
①評価基礎点　（A＋B）／2＝　2. 5　点　階級　Ⅳ	

2. 水質を調べる

水温	25 ℃
a. 水の色	(1). 無色　2. 緑茶色　3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭　(3). 臭いあり
c. 透視度	(1). 80cm以上　2. 60cm以上　3. 60cm未満
d. pH	(1). 6.5～8.5　3. 6.4以下　3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満　(3). 5.0mg/L以上
②水質評価点　（a＋b＋c＋d＋e）／5＝　1. 8　点　階級　Ⅲ	

3. 川底を調べる
（底生動物を調べる場所で調査する）

調査場所	(早瀬)　平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石　(3). 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか　2. メロン　(3). みかん
h. 堆積物の種類	1. なし　(2). 砂泥　3. 泥（腐敗）
i. 付着藻類色	1. 茶緑色　(2). 緑色　3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない　(2). 多い　3. マット状
③川底評価点　（f＋g＋h＋i＋j）／5＝　2. 4　点　階級　Ⅳ	

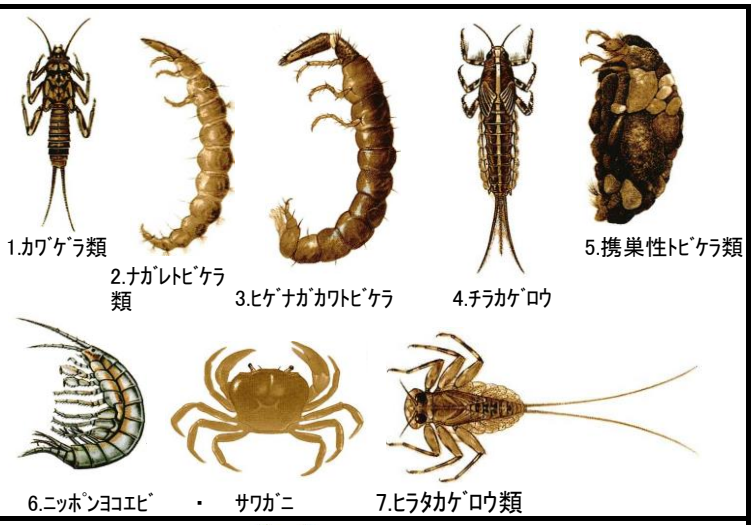
メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

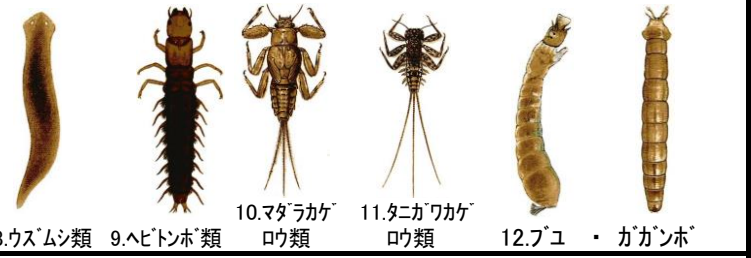
年　組　名前

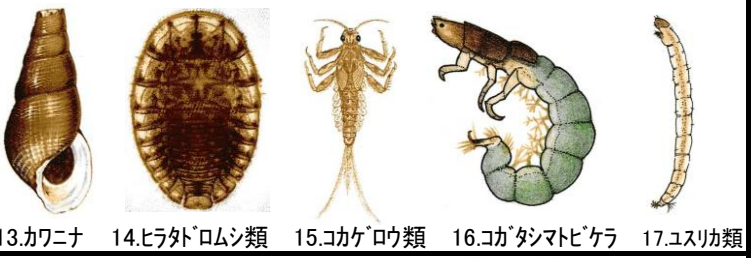
川の水環境調査記録用紙（その2）

No.

4. 底生動物（ていせいどうぶつ）を調べる







階級	No. 指標生物名（しひょうせいぶつめい）	水質環境評価階級 I	II	III	IV	V
快適な水環境（I）	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巣性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境（II）	8. ウズムシ類（プラナリア）		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境（III）	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類（白・緑）					
多少不快な水環境（IV）	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ（等脚目）					
	21. ヒル類					
不快な水環境（V）	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					○
	24. セスジユスリカ（赤）					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数（○＋●）	1	3	0	0	1
	最も多い種の数（●）	0	1	0	0	0
	得点の合計	1	4	0	0	1
底生動物による川の水環境評価の判定		**II 親しめる水環境**				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

（別記様式２）県への報告様式

川の水環境調査記録用紙（その1）

調査番号
No. 32

調査河川名	菊池川 （水系 ）		
調査地点名	菊池渓谷水の駅前		
調査団体名	熊本県立菊池少年自然の家		
代表者名		参加人数	11人
連絡先住所			
調査年月日	平成27年8月3日	調査時間	10:40
調査日天候	晴れ	気温	29℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 ②. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ②. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 （A＋B）／2＝ 2 点 階級 I	

2. 水質を調べる

水温	18 ℃
a. 水の色	①. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	①. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	①. 6.5～8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	①. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 （a＋b＋c＋d＋e）／5＝ 1 点 階級 I	

3. 川底を調べる
（底生動物を調べる場所で調査する）

調査場所	(早瀬) 平瀬
f. 石の状態	①. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	①. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	①. なし 2. 砂泥 3. 泥（腐敗）
i. 付着藻類色	①. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 （f＋g＋h＋i＋j）／5＝ 1 点 階級 I	

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点 ②水質	評価点 ③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川は、菊池渓谷に近いことから冷たく、透き通っていた。小魚も多く見られ、大きな石が多かった。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙（その2）

No.

4. 底生動物（ていせいどうぶつ）を調べる

1.ｶﾜｹﾞﾗ類

2.ﾅｶﾞﾚﾄﾋﾞｹﾗ類

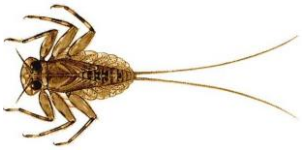
3.ﾋｹﾞﾅｶﾞｶﾜﾄﾋﾞｹﾗ

4.ﾁﾗｶｹﾞﾛｳ

5.携巣性ﾄﾋﾞｹﾗ類

6.ﾆｯﾎﾟﾝﾖｺｴﾋﾞ

・ ｻﾜｶﾞﾆ


7.ﾋﾗﾀｶｹﾞﾛｳ類

8.ｳｽﾞﾑｼ類

9.ﾍﾋﾞﾄﾝﾎﾞ類

10.ﾏﾀﾞﾗｶｹﾞﾛｳ類

11.ﾀﾆｶﾞﾜｶｹﾞﾛｳ類

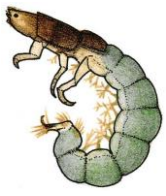
12.ﾌﾞﾕ

・ ｶﾞｶﾞﾝﾎﾞ

13.ｶﾜﾆﾅ

14.ﾋﾗﾀﾄﾞﾛﾑｼ類

15.ｺｶｹﾞﾛｳ類


16.ｺｶﾞﾀｼﾏﾄﾋﾞｹﾗ

17.ﾕｽﾘｶ類

18.貝類(ﾓﾉｱﾗｶﾞｲ、ｼｼﾞﾐ)

19.ｻﾎｺｶｹﾞﾛｳ

20.ﾐｽﾞﾑｼ

21.ﾋﾙ類

22.ｻｶﾏｷ貝

23.ｲﾄﾐﾐｽﾞ類

24.ｾｽｼﾞﾕｽﾘｶ(赤)

25.ﾎｼﾁｮｳﾊﾞｴ

階級	No. 指標生物名（しひょうせいぶつめい）	水質環境評価階級 I	II	III	IV	V
快適な水環境（I）	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巣性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境（II）	8. ウズムシ類（プラナリア）					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境（III）	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類（白・緑）					
多少不快な水環境（IV）	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ（等脚目）					
	21. ヒル類					
不快な水環境（V）	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ（赤）					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数（○＋●）	2	2			
	最も多い種の数（●）	1				
	得点の合計	3	2			
底生動物による川の水環境評価の判定		I 快適な水環境				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

（別記様式２）県への報告様式

川の水環境調査記録用紙（その1）

調査番号
No. 33

調査河川名	菊池川　（水系　　）		
調査地点名	菊池市亘地先（清流公園）		
調査団体名	菊池地区広域協定運営委員会		
代表者名		参加人数	140 人
連絡先住所			
調査年月日	平成27年9月11日	調査時間	13:30
調査日天候	晴	気温	28 ℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域　(2) 山間流域　3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林　(2) 畑・水田　3. 市街地
①評価基礎点	（A＋B）／2＝　2 点　Ⅲ階級

2. 水質を調べる

水温	℃
a. 水の色	(1) 無色　2. 緑茶色　3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1) 無臭　3. 臭いあり
c. 透視度	(1) 80cm以上　2. 60cm以上　3. 60cm未満
d. pH	(1) 6.5～8.5　3. 6.4以下　3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満　3. 5.0mg/L以上
②水質評価点	（a＋b＋c＋d＋e）／5＝　1．1点　Ⅰ階級

3. 川底を調べる
（底生動物を調べる場所で調査する）

調査場所	早瀬　(平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石　3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか　(2) メロン　3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし　(2) 砂泥　3. 泥（腐敗）
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色　2. 緑色　3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない　2. 多い　3. マット状
③川底評価点	（f＋g＋h＋i＋j）／5＝　1．4　点　Ⅱ階級

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
Ⅰ	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
Ⅱ	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
Ⅲ	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
Ⅳ	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
Ⅴ	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年　組　名前

川の水環境調査記録用紙（その2）

No.

4. 底生動物（ていせいどうぶつ）を調べる

1.カワゲラ類

2.ナガレトビケラ類

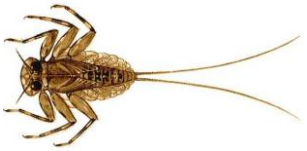
3.ヒゲナガカワトビケラ

4.チラカゲロウ

5.携巣性トビケラ類

6.ニッポンヨコエビ

・ サワガニ


7.ヒラタカゲロウ類

8.ウズムシ類

9.ヘビトンボ類

10.マダラカゲロウ類

11.タニガワカゲロウ類

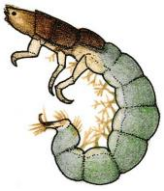
12.ブユ

・ ガガンボ

13.カワニナ

14.ヒラタドロムシ類

15.コカゲロウ類


16.コガタシマトビケラ

17.ユスリカ類

18.貝類(モノアラガイ、シジミ)

19.サホコカゲロウ

20.ミズムシ

21.ヒル類

22.サカマキ貝

23.イトミミズ類

24.セスジユスリカ(赤)

25.ホシチョウバエ

階級	No. 指標生物名（しひょうせいぶつめい）	水質環境評価階級 I	II	III	IV	V
快適な水環境（I）	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巣性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境（II）	8. ウズムシ類（プラナリア）					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境（III）	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類（白・緑）					
多少不快な水環境（IV）	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ（等脚目）					
	21. ヒル類					
不快な水環境（V）	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ（赤）					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数（○＋●）	5	2	2		
	最も多い種の数（●）	1	1			
	得点の合計	6	3	2		
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

調査番号

No. 41

川の水環境調査記録用紙（その1）

調査河川名	内田川 （水系 菊地川）		
調査地点名	次郎丸 付近		
調査団体名	南関第4小学校		
代表者名		参加人数	8 人
連絡先住所			
調査年月日	H27. 9. 16	調査時間	9:20
天候	曇	気温	23 ℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	(2. 山間流域)	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	(2. 畑・水田)	3. 市街地
①. 評価基礎点 (A+B)／2= 2.0 点		Ⅲ 階級	

2. 水質を調べる

水温	20 ℃			
a. 水の色	1	(1. 無色)	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1	(1. 無臭)		3. 臭いあり
c. 透視度	1	(1. 80cm以上)	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. PH	1	(1. 6.5～8.5)		3. 6.4以下、8.6以上
e. COD	1	(1. 5.0mg/L未満)		3. 5.0mg/L以上
②. 水質評価点 (a+b+c+d+e)／5= 1.0 点		Ⅰ 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	(平瀬)	
f. 石の状態	1. 浮き石	(3. 沈み石)	
g. 石の大きさ	1. すいか	(2. メロン)	3. みかん
h. 堆積物の種類	(1. なし)	2. 砂泥	3. 泥（腐敗）
i. 付着藻類色	(1. 茶緑色)	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1. 少ない)	2. 多い	3. マット状
③. 川底評価点 (f+g+h+i+j)／5= 1.6 点		Ⅱ 階級	

水質と川底評価点からの水環境評価

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点 ②水質	評価点 ③川底
Ⅰ	快適な水環境	1.0	(1.0)	1.0
Ⅱ	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 (1.6)
Ⅲ	不快を感じない水環境	(2.0)	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
Ⅳ	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
Ⅴ	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

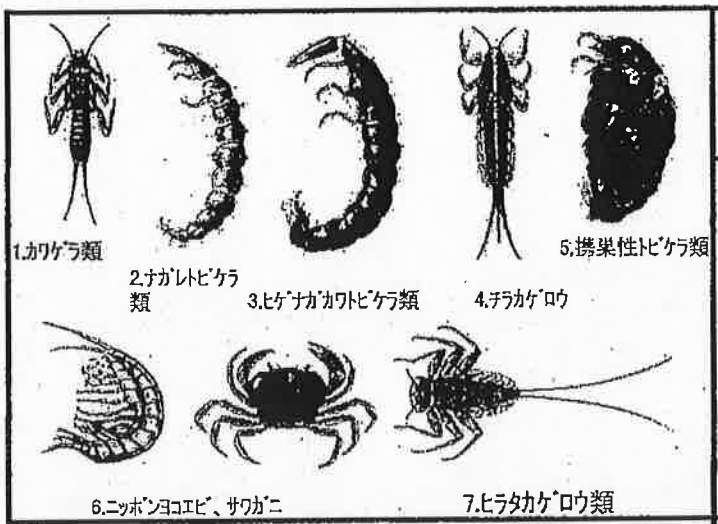
メモ 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあったか、何でも気づいたことがあったら書き止めておくと後で便利です。

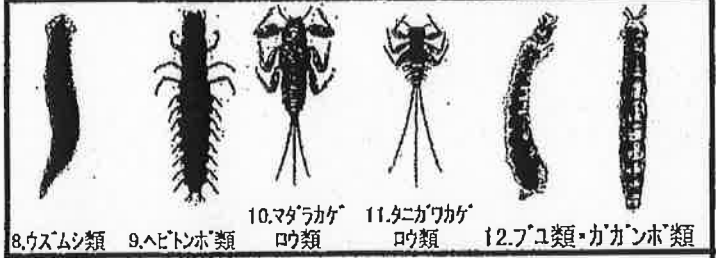
年 組 名前

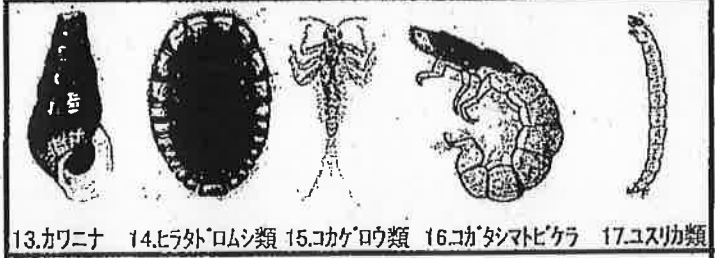
川の水環境調査記録用紙（その2）

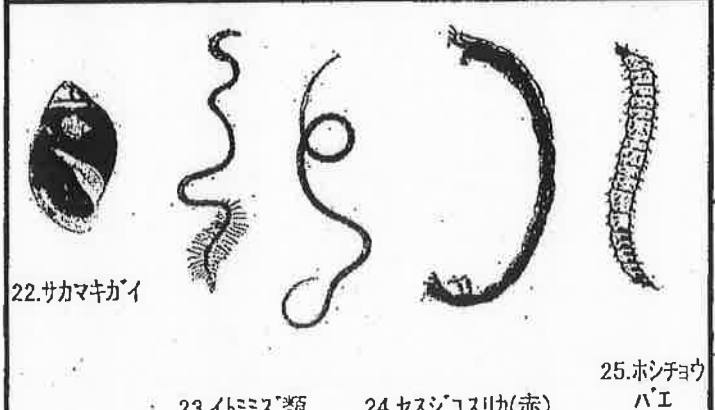
No.

4. 底生動物を調べる









階級	No.	指標生物名	I	II	III	IV	V
快適な水環境（I）	1.	カワゲラ類	■				
	2.	ナガレトビケラ類	■				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	■				
	4.	チラカゲロウ	■				
	5.	携巣性トビケラ類	■				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類	■				
親しめる水環境（II）	8.	ウズムシ類(プラナリア)		■			
	9.	ヘビトンボ類		■			
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		●			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		■			
不快を感じない水環境（III）	13.	カワニナ			■		
	14.	ヒラタドロムシ類			■		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			●		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境（IV）	18.	貝類				○	
	19.	サホコカゲロウ				■	
	20.	ミズムシ(等脚目)				○	
	21.	ヒル類				○	
不快な水環境（V）	22.	サカマキガイ					■
	23.	イトミミズ類					■
	24.	セスジユスリカ(赤)					■
	25.	ホシチョウバエ					■
得点の集計		出現した種の数(○＋●)	1	2	3	3	0
		最も多い種の数(●)		1	1		
		得点の合計	1	3	4	3	0
底生動物による川の水環境評価の判定					III		

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数が多い種類には●印を記入します。

（別記様式２）県への報告様式

川の水環境調査記録用紙（その1）

調査番号
No. 49

調査河川名	白川　（水系　　）		
調査地点名	合上橋		
調査団体名	南阿蘇村立　久木野小学校　5年生		
代表者名		参加人数	25　人
連絡先住所			
調査年月日	平成27年7月10日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	28．5　℃

1．調査地点の様子を調べる

A．川の地形	1．渓流域　(2)．山間流域　3．平地流域
B．川の背景	1．森林　(2)．畑・水田　3．市街地
①評価基礎点　（A＋B）／2＝　2．0　点　階級　Ⅲ	

2．水質を調べる

水温	℃
a．水の色	(1)．無色　2．緑茶色　3．白・灰・黒色
b．水の臭い	(1)．無臭　3．臭いあり
c．透視度	(1)．80cm以上　2．60cm以上　3．60cm未満
d．pH	(1)．6.5～8.5　3．6.4以下　3．8.6以上
e．COD	(1)．5.0mg/L未満　3．5.0mg/L以上
②水質評価点　（a＋b＋c＋d＋e）／5＝　1．0　点　階級　Ⅰ	

3．川底を調べる
（底生動物を調べる場所で調査する）

調査場所	早瀬　(平瀬)
f．石の状態	(1)．浮き石　3．沈み石
g．石の大きさ	1．すいか　2．メロン　(3)．みかん
h．堆積物の種類	1．なし　(2)．砂泥　3．泥（腐敗）
i．付着藻類色	(1)．茶緑色　2．緑色　3．白灰黒色
j．付着藻類量	(1)．少ない　2．多い　3．マット状
③川底評価点　（f＋g＋h＋i＋j）／5＝　1．6　点　階級　Ⅱ	

水質と川底評価点からの水環境評価

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点 ②水質	評価点 ③川底
Ⅰ	快適な水環境	1.0	(1.0)	1.0
Ⅱ	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	(1.6)
Ⅲ	不快を感じない水環境	(2.0)	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
Ⅳ	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
Ⅴ	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

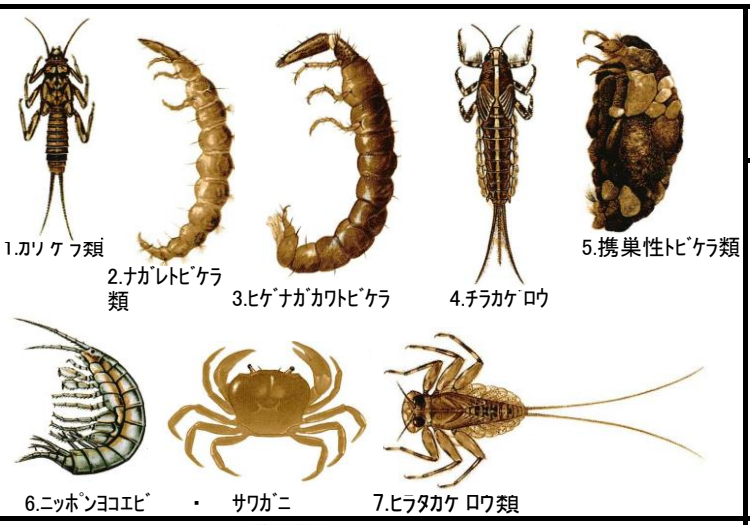
メモ：河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

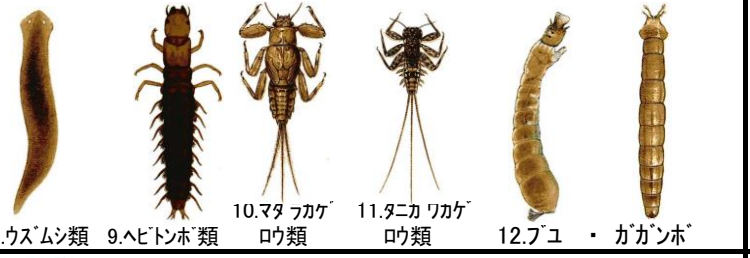
年　組　名前

川の水環境調査記録用紙（その2）

No.

4. 底生動物（ていせいどうぶつ）を調べる





階級	No. 指標生物名（しひょうせいぶつめい）	水質環境評価階級 I	II	III	IV	V
快適な水環境（I）	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巣性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境（II）	8. ウズムシ類（プラナリア）					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境（III）	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類（白・緑）					
多少不快な水環境（IV）	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ（等脚目）					
	21. ヒル類					
不快な水環境（V）	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					○
	24. セスジユスリカ（赤）					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数（○＋●）	3	1	2		1
	最も多い種の数（●）					
	得点の合計	3	1	3		1
底生動物による川の水環境評価の判定		**II 親しめる水環境**				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。